

eラーニング大賞文部科学大臣賞の教材開発・活用のプロが指導!

看護過程の適切な展開方法と根拠がある指導法



満席のため追加日程

日総研 13724

検索

学生・新人がよくつまずく問題の解決策を、事例に基づいて徹底解説!

看護教員や実習指導者は、「日頃の授業や実習指導の方向性が正しいのだろうか?」「学生や新人のアセスメント力を向上させるにはどうしたら良いか?」「記録委員として勉強会を企画しているが教え方に自信がない」など、看護過程を教えることに対して多くの悩みや疑問を感じています。指導者がどのようなアクションを起こせば主体的に学習するかを講師と一緒に考えて解決します。また、講師の経験を交えて学生、新人・若手ナースが陥りやすいミスや、根拠がある指導をしていく上でのポイントを紹介し

教科書では学べない、主体的に学べる指導方法が分かる

プログラム

1. 看護過程とは

- 1) 看護過程を学ぶ意味
- 2) 問題解決型アプローチ(問題解決過程)と看護過程の関連性
- 3) 看護過程に必要な専門技能

2. 看護過程を理解・活用するために必要な基礎スキル

- 1) 看護的視点 2) データと情報 3) 看護過程と看護記録
- 4) 看護診断ラベル(NANDA-Iを中心に)

3. 看護過程の展開

- 1) アセスメントの枠組み 看護理論に基づくアセスメントシート
- 2) アセスメント アセスメントの種類、情報収集・情報の妥当化、情報の解釈・分析
- 3) 看護問題の明確化 統合、関連図の描き方、看護診断過程
- 4) 計画その1 優先度と問題リスト、成果と指標、NOC
- 5) 計画その2 介入計画、標準看護計画とクリティカルパス
- 6) 実施と評価

4. 学生、新人・若手ナースが陥りやすい問題

- 1) アセスメント段階での問題 例:情報の妥当化が不十分で診断に至る根拠に乏しい
- 2) 看護問題の明確化段階での問題 例:ステレオタイプ・短絡的な思考 例:CVC挿入している→感染リスク状態
- 3) 成果と指標段階での問題 例:具体性がなく、測定不可能な目標の設定
- 4) 介入計画段階での問題 例:関連因子の解決策を入れていない
- 5) 実施段階での問題 例:計画しただけで実施が伴っていない
- 6) 評価段階での問題 例:「できた」「できなかった」で終わっている

5. 学生、新人・若手ナースが主体的に看護過程を学ぶための教員・実習指導者のかかわり方

6. まとめ・質疑応答

長家智子氏 佐賀大学 医学部 看護学科 看護学科長/教授

九州大学医療技術短期大学部卒業後、臨床経験を積み、助手として転任。九州大学医学部助教授、九州大学大学院医学研究院保健学部門准教授、佐賀大学医学部看護学科教授を歴任し、2016年4月より現職。教育教材開発と活用・看護過程の教育方法に関する研究などに従事する傍ら、日本看護診断学会理事・評議員などを務める。また、看護協会などの教育機関で看護過程や看護診断の研修講師としても積極的に活動している。主な著書に『看護過程の展開と指導』(日総研出版)がある。

東京	18年 12月9日(日)	損保会館
福岡	19年 2月24日(日)	日総研研修室(第7岡部ビル)
大阪	19年 4月14日(日)	田村駒ビル
札幌	19年 5月11日(土)	道特会館

[講義時間] いずれも10:00~16:30

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円
 ※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数18人。

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材

日総研

検索

講師著書

看護過程の展開と指導

よくある“つまずき”を事例で読み解く

B5判 2色刷 200頁 定価 2,778円+税

看護過程を理解・活用するために必要な基礎スキル

看護過程の展開: ①アセスメントの基礎知識 ②アセスメントの具体的な進め方 ③看護診断 ④計画 ⑤実施・評価

看護学生、新人・若手ナースが主体的に看護過程を学ぶための教員・指導者のかかわり

日総研 601724

検索

▶詳細はホームページで www.nissoken.com

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL() - 〒 -	施設宛請求書 必要・不要
	ふりがな	氏名(受取確認者)		
看護過程の適切な展開方法と根拠がある指導法 [13724]	生年月日 西暦 19 年 月 日	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください		送付先 自宅・勤務先
↓参加地区に✓印を	お客様コード	役職・部署		
[36] <input type="checkbox"/> 東京 12/9	ご連絡をお送りします。メールアドレス			
[37] <input type="checkbox"/> 福岡 19年2/24				
[38] <input type="checkbox"/> 大阪 19年4/14				
[39] <input type="checkbox"/> 札幌 19年5/11				

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy